



reddot design award
winner 2012



アクリウム それは、機能を持った彫刻

デザイナーは、自由に動く水の時を止めた。まるで、美術館で出会うようなオブジェ。これは、ダンベルという機能を持って生まれた、アクリウムの新しいラインナップ。

「メタル・リキッド」

流れるような曲線と、重量感のあるフォーム。部屋に飾っておきたい美しさだ。「展示会に出品した時、皆さんから『何ですか?』と聞かれました」と、デザイナー室長の喜多さんは語る。アクリウムは、プロダクトデザイナーの澄川伸一氏が、「機能を持った彫刻」というコンセプトで開発しているシリーズ。これまでに、傘立てや靴べらなどを商品化してきた。それらの形は、「メタル・リキッド」という、液体をイメージさせるものになっている。

「トップとボトム」の重量を計測。

新商品の開発にあたって、澄川氏は、玄関からリビングへシーンを進めた。「美しいフォームで、意外な使い方」を求め、ダンベルとなったのである。イメージする形を、コンピュータで作

成し、体積を出す。トップとボトムを同じ重さにしなければいけないからだ。それからモックアップをつくり、ペーパーをかけてブラッシュアップする。「くびれの部分を握ったとき、手になじむように。ここは、アナログな作業なんです」と、喜多さん。数値に頼らない人間感覚。工学なのである。

アルミを流し込む、そして磨く。

形が決まり、製造工程へ。アクリウムの素材はアルミ合金だが、これだけの固まりを製造すると、不良品の率が高くなる。ピンホールができやすいのである。また、研磨でも、曲面は凹凸が目立



Dumbbell 2kg/1kg/0.5kg



Fruit Bowl

product designer
澄川 伸一
<http://www001.upp.so-net.ne.jp/sumikawa/>

ちやすい。ここにも、高岡の職人の高度な技術が活かしている。

ドイツが、世界中が、驚いた。

アクリウムが完成し、澄川氏も、できあがりを入っていたという。そんなある日、ドイツからうれしい知らせが届いた。「レッドドットデザイン賞」を受賞したのだ。これは、国際的なプロダクトデザイン賞で、他の受賞製品は、車など機械的なものが多い。その中で、ダンベルはアルミ単体の商品だ。

「铸件そのもので受賞した。それが、誇りです」と、喜多さんは語る。

鏡のように磨かれたダンベルは、もうひとつの「輝き」を手にしたのである。

アクリウムには、フルーツボール、アクセサリースタンドなども加わっています。

■お問い合わせ

株式会社 竹中銅器

本社 / 〒933-0954 富山県高岡市美幸町2丁目1番16号 TEL 0766-22-0707(代)
東京営業所 / 〒108-0074 東京都港区高輪4丁目22-18 ジャクエツ第2ビル1F TEL 03-3444-0002
URL <http://www.takenakadouki.co.jp/>